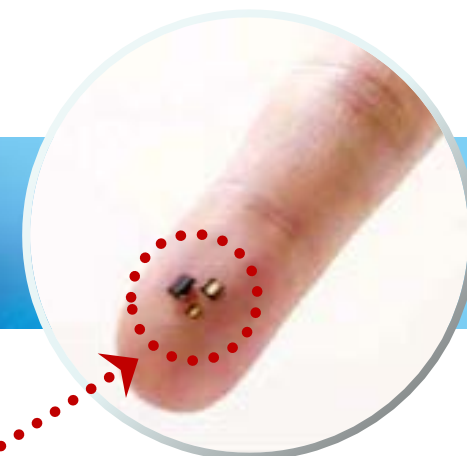


トレックス・セミコンダクター株式会社

個人投資家感謝Day

～春のIR祭り2017～



私たちトレックス・セミコンダクターは

小型化・省電力化で

豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献します

2017年3月11日

世界で存在感のある企業になる
ことを目指してまいります。



トレックス・セミコンダクター株式会社
代表取締役社長 芝宮 孝司（シバミヤ コウジ）

1 トレックスについて

2 新生トレックス・グループ

3 第3四半期実績と通期予測

4 トレックスのこれから

5 還元方針

1. トレックスについて

1. 概要
2. 沿革
3. 事業内容
4. 特長
5. 採用事例

1 トレックスについて

2 新生トレックス・グループ

3 第3四半期実績と通期予測

4 トレックスのこれから

5 還元方針

1. トレックスについて

1-1. 概要

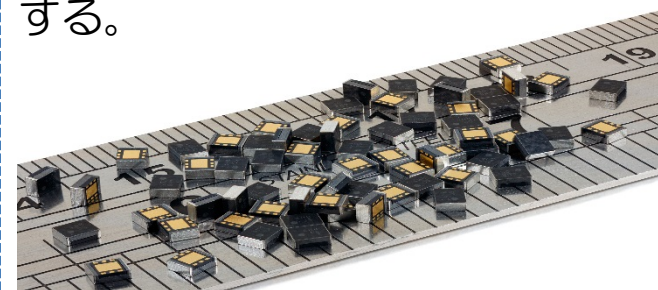
- 2014年4月にJASDAQスタンダード市場に上場、その1年後の2015年10月に東証二部に市場変更した、創業21年の半導体メーカーです。

アナログのチカラ

ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 秀和第2新川ビル3F
代表者	代表取締役会長 藤阪 知之 代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	18億3,817万円（2016年12月31日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：164名 / グループ：1,000名
上場証券取引所 及び上場日	東京証券取引所 市場第二部 2015年10月15日
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

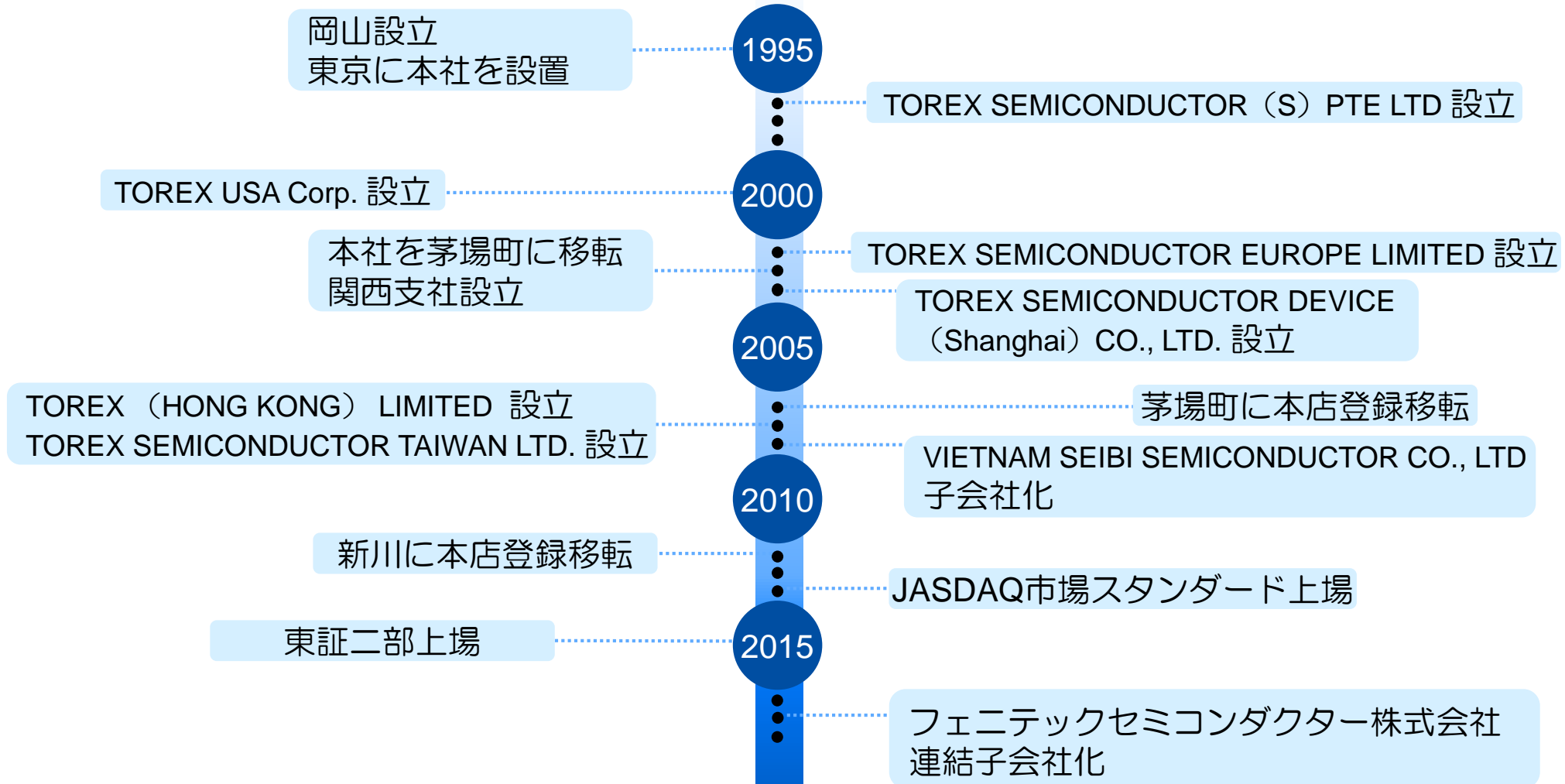
常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



1. トレックスについて

1-2. 沿革

- 電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業技術の発展に貢献してきました



1. トレックスについて

1-3. 事業内容

- あらゆる電子機器に不可欠の電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

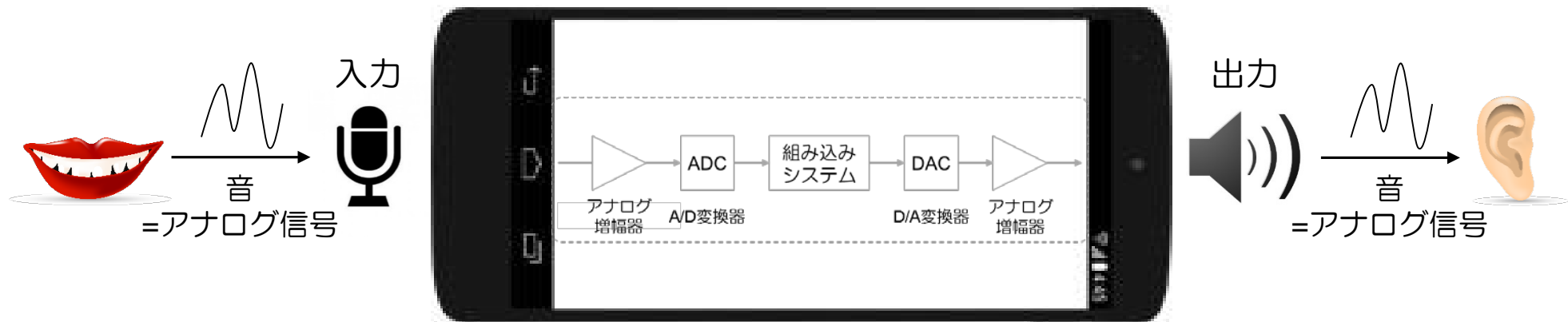
1. トレックスについて

1-4. 特長～①アナログ電源ICに特化

- デジタル時代といわれている今でも、なくてはならない存在であるアナログ電源ICに特化しています。

音、温度、電気、磁気、圧力など等、自然界の信号は全てアナログです。デジタル機器の中にも必ずアナログの半導体が搭載されており、デジタル化がどれだけ進んでも、アナログがなくなることは有り得ません。

例) スマートフォンの通話機能



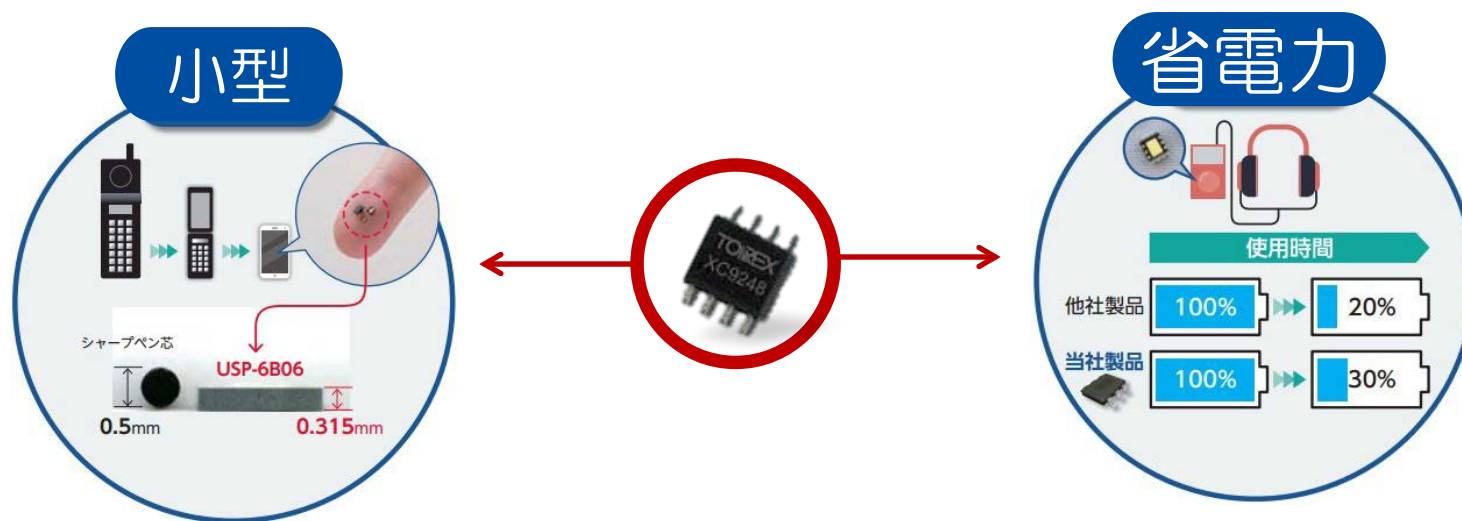
内部はデジタルでも入出力はアナログ

1. トレックスについて

1-4. 特長～②独自技術

- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

1. トレックスについて

1-4. 特長～③当社の考える「ファブレス経営」

- ファブレス型事業形態を維持しつつ、製造パートナーをグループ内に取り込み、前工程の自社所有とファブレスのメリットを併せ持つ生産体制を整えます。

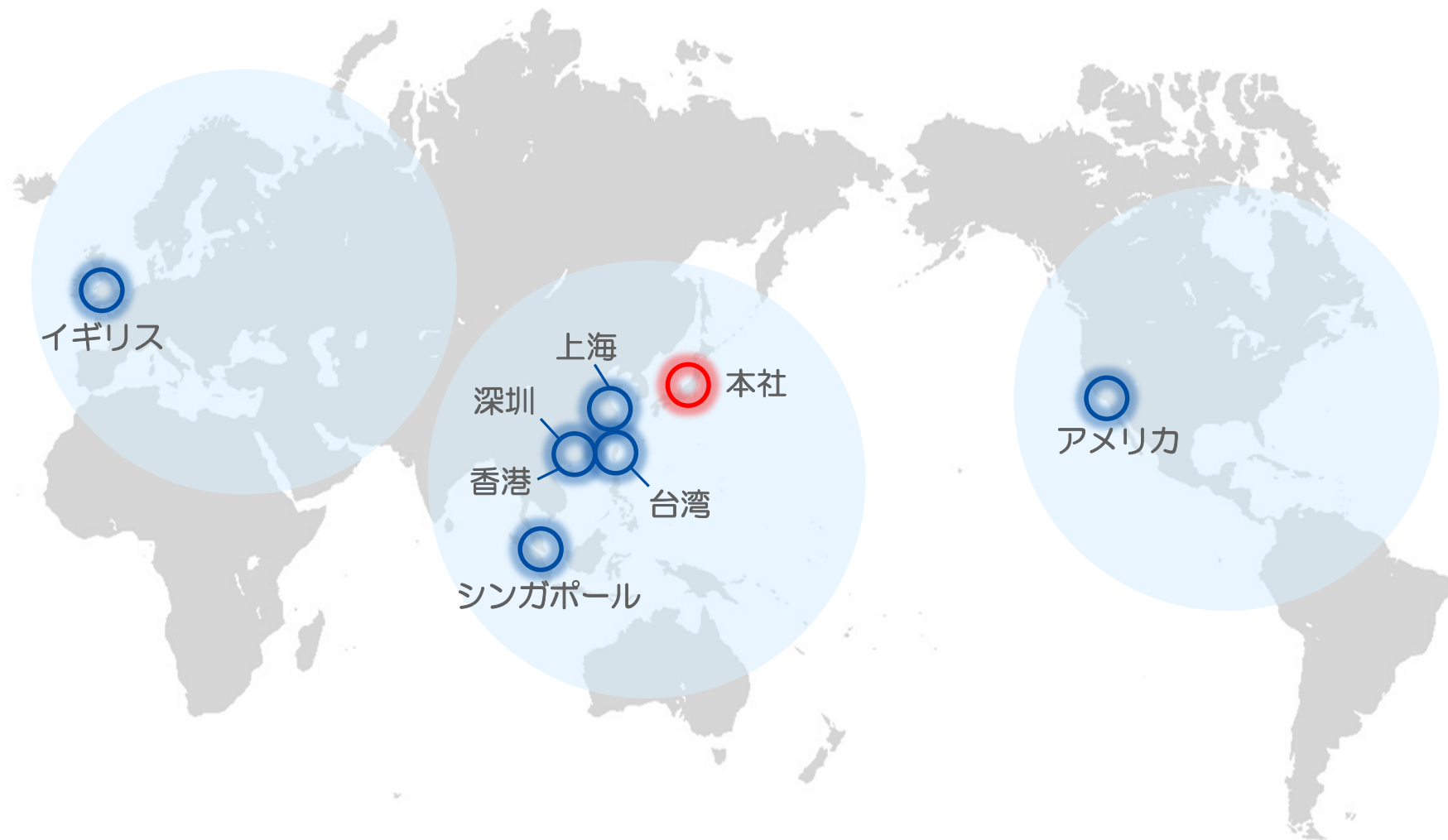
概要		選択肢	Quality	Cost		Delivery	
			製造技術/品質	原価	投資額	納期	新規プロセス対応期間
前工程	 シリコン基板に回路を作り込む	自社所有	○	△	×	○	×
	ファブレス	△	○	○	△	○	

高付加価値製品を長期安定供給できる企業へ

1. トレックスについて

1-4. 特長～④積極的に海外販路を開拓

- 設立当初から海外販路の開拓に積極的に取り組み、現在は世界5カ国、7つの地域に営業拠点をおき、世界の需要に対応しています。



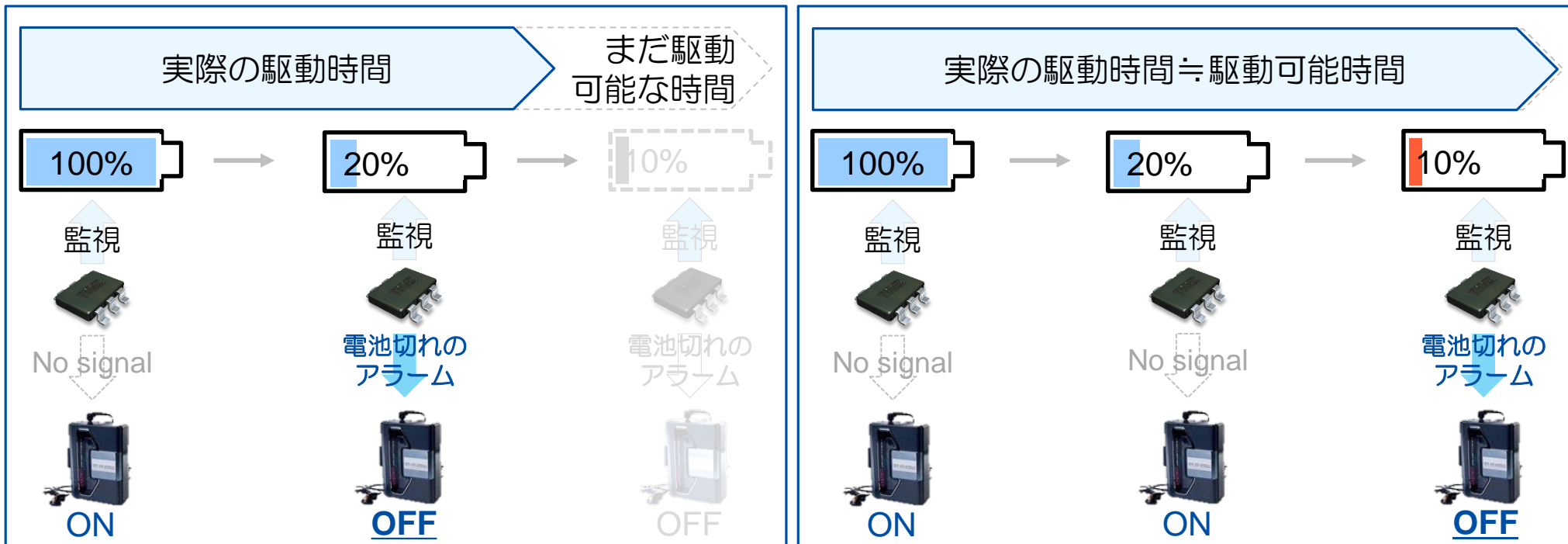
1. トレックスについて

1-5. 採用事例 (1/2)

- 電池に特化した電源ICを開発、その技術を大手電気メーカーに認められたことがトレックスの名を世に広めるきっかけとなりました。

従来品

TOREX製品



電池をギリギリまで使用することが可能になり、**カセットプレーヤーの部品に採用**されました

1. トレックスについて

1-5. 採用事例 (2/2)

- 安全、安心、快適なくらしの追求により世界のIoTが進み、通信機能を要する分野の拡大、新しい分野での採用が増えています。

市場	アプリケーション
車載機器	
産業機器	<p>スマートメーター 監視カメラ 自動販売機</p>
ウェアラブル・医療	<p>血圧計 心拍数モニター フィットネストラッカー GPS時計</p>

市場	アプリケーション
その他	<p>テニスラケット、サッカーボール、縄跳び等のスポーツ用品</p>
	<p>ドローン スマートカード</p>

2. 新生トレックス・グループ

1. グループ事業構造の変化
2. トレックス・グループのリソース
3. 3つの重点分野
4. 市場見通し
5. グループ内シナジー効果

1 トレックスについて

2 新生トレックス・グループ

3 第3四半期実績と通期予測

4 トレックスのこれから

5 還元方針

2. 新生トレックス・グループ

2-1. グループ事業構造の変化


- 2016年4月にフェニテックセミコンダクター社を子会社化しました。

これまでの事業

超小型・省電力
電源ICの
開発・販売



トレックス・
セミコンダクター
グループ

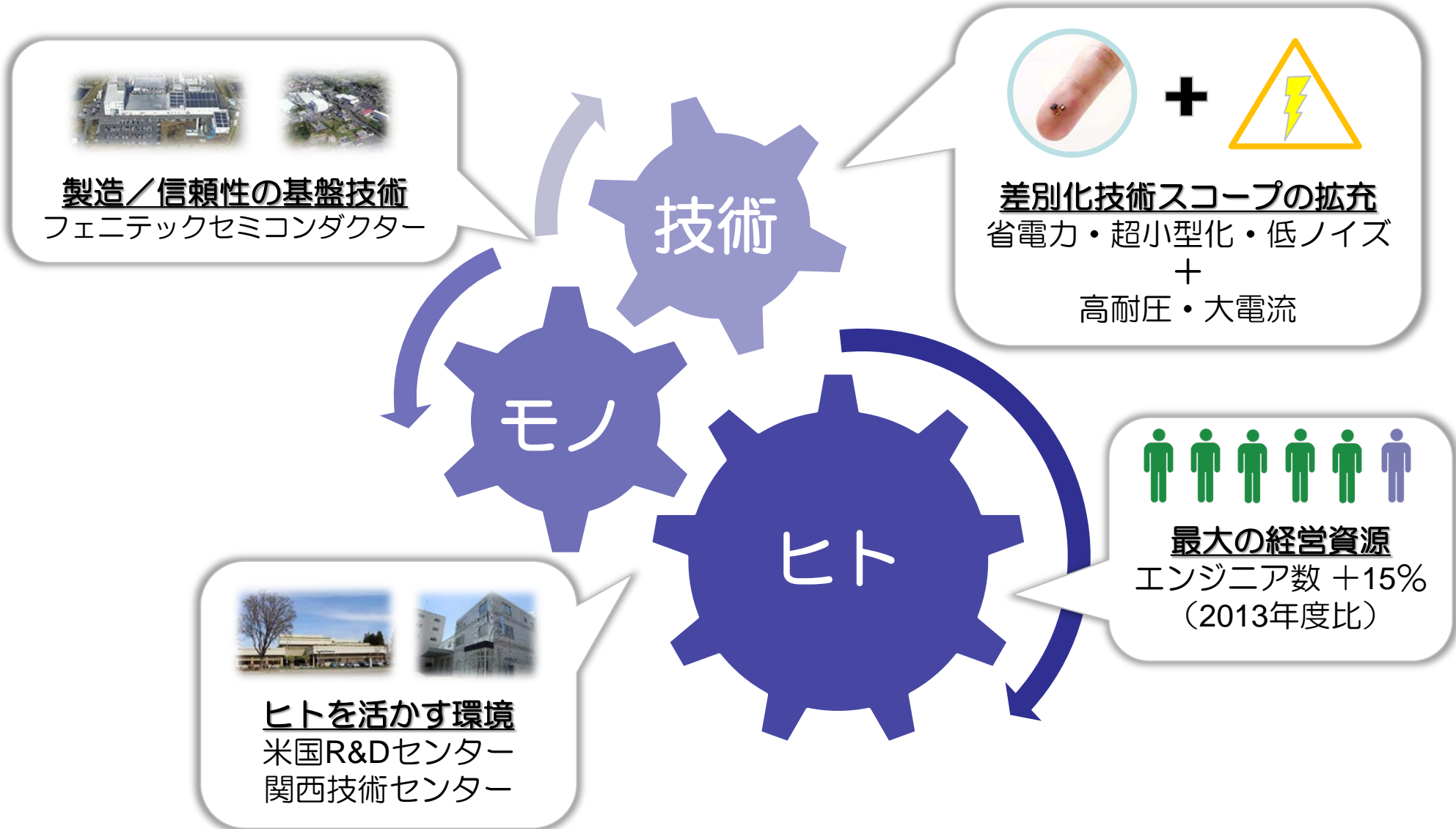
 フェニテック

ファンドリー
(半導体受託製造)

2. 新生トレックス・グループ

2-2. トレックス・グループのリソース

- 2014年のIPO以降、成長に向けたリソースの充実を図ってきました。



2. 新生トレックス・グループ

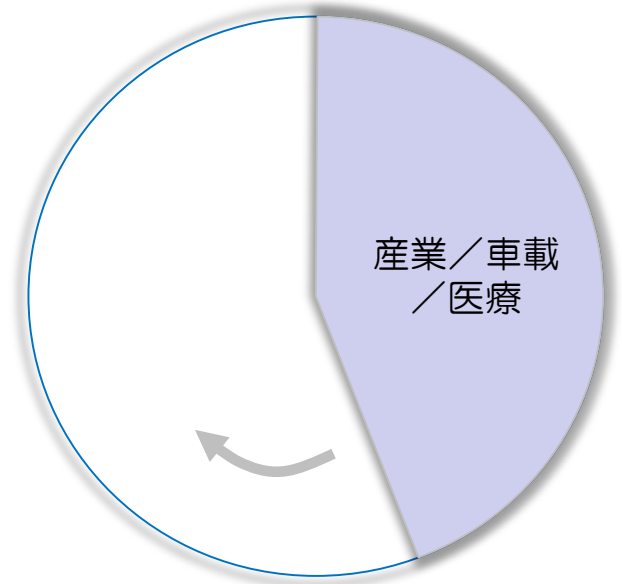
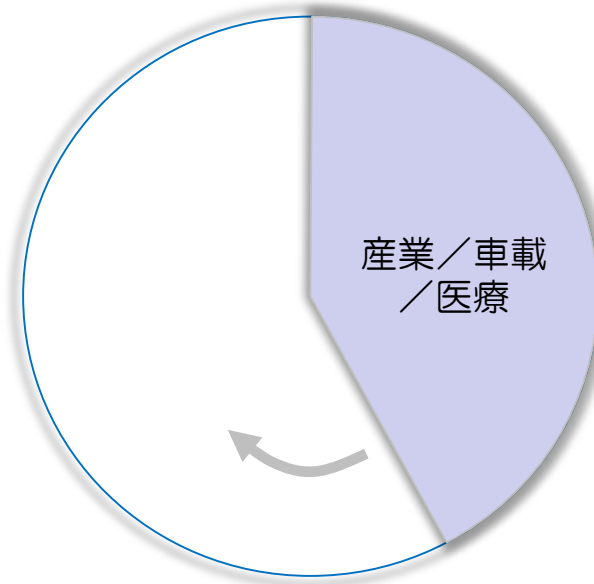
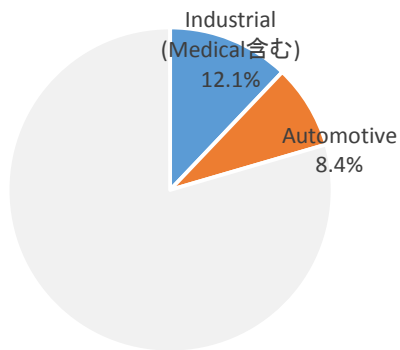
2-3. 3つの重点分野

- グループを挙げて産業・車載・医療の構成比が増大しています。
- 電子制御や通信等の機能が付加・拡充していくとともにトレックス製品の潜在市場は拡大していく見通しです。

電源 I C事業

ファンドリー

2015年の世界市場
IHS Global株式会社



(2016年3月期実績：参考値)

2. 新生トレックス・グループ

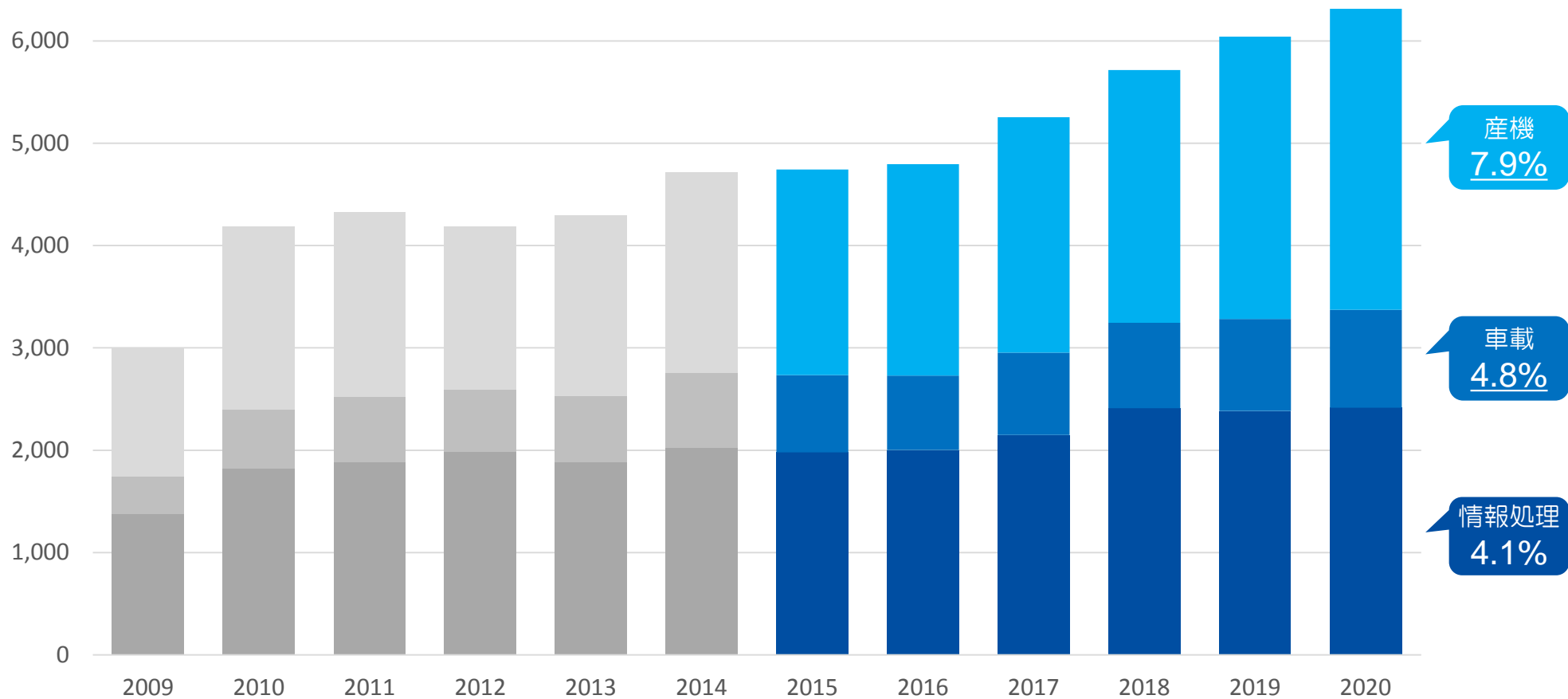
2-4. 市場見通し～アナログ電源IC

- これからの電源IC市場はワイヤレスや家電分野よりも車載・産業機器分野において相対的に高い成長が期待されます。

世界の電源IC分野別(抜粋)市場規模推移

平均成長率

(単位: Millions USD)



【出典】 IHS Global株式会社調べ (2016年)

2. 新生トレックス・グループ

2-4. 市場見通し～ファンドリー事業

- ファンドリー市場は、リーマンショック以降堅調に推移しております。

世界のピュアファンドリー市場規模推移

(単位：Millions USD)



【出典】IHS Global株式会社調べ（2016年）

2. 新生トレックス・グループ

2-5. グループ内シナジー効果

- フェニテックのグループ化に伴うシナジー効果の発揮に向けて総力を挙げて取組んでまいります。



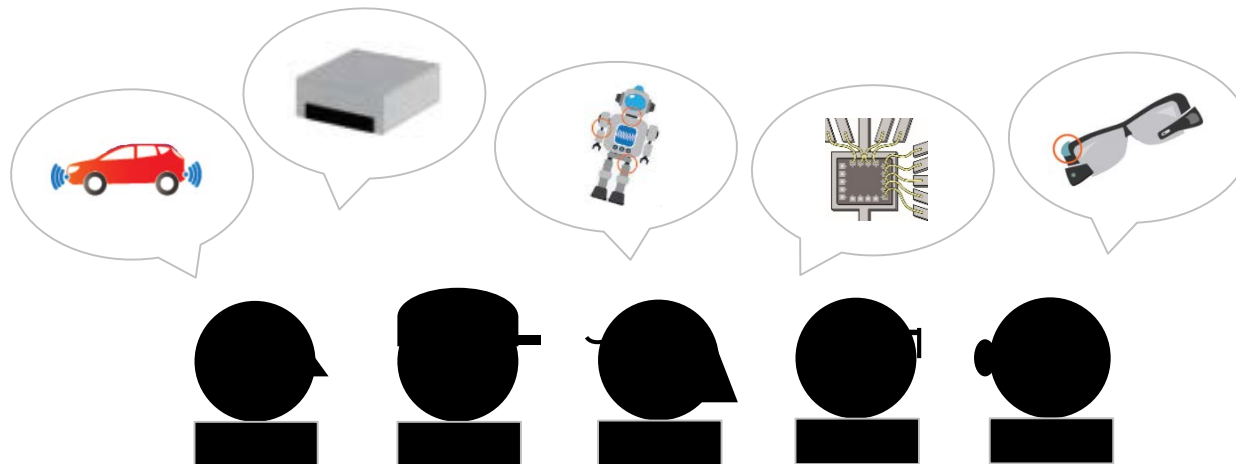
新規製品の売上創出効果1.5億円（3年後）



原価低減効果0.7億円（3年後）



既存製品の売上拡大効果2億円（3年後）



3. 第3四半期実績と通期予測

1. 売上高
2. 営業利益
3. 当期純利益

1 トレックスについて

2 当社がおかれている環境

3 第3四半期実績と通期予測

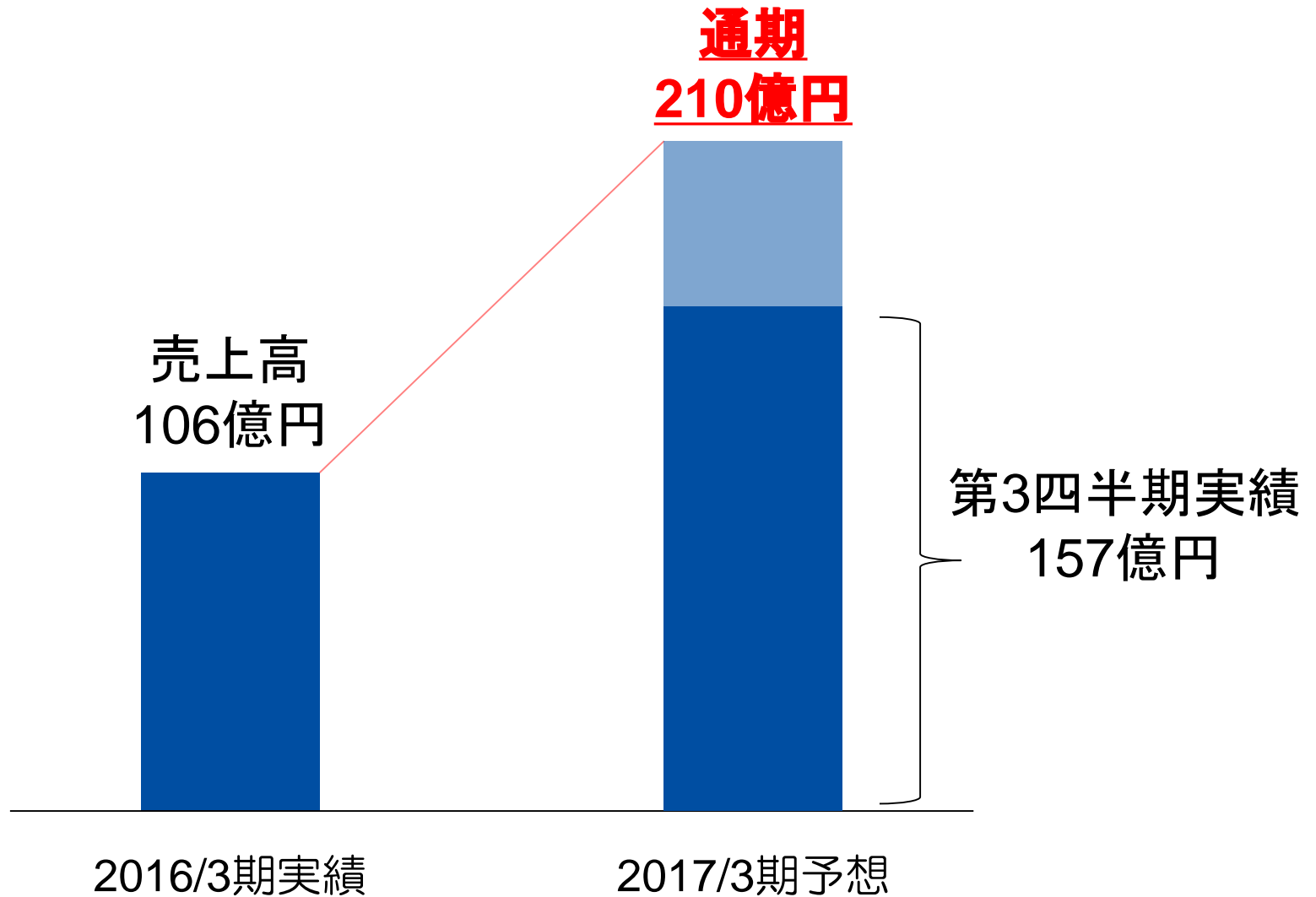
4 トレックスのこれから

5 還元方針

3. 第3四半期実績と通期予測

3-1. 売上高

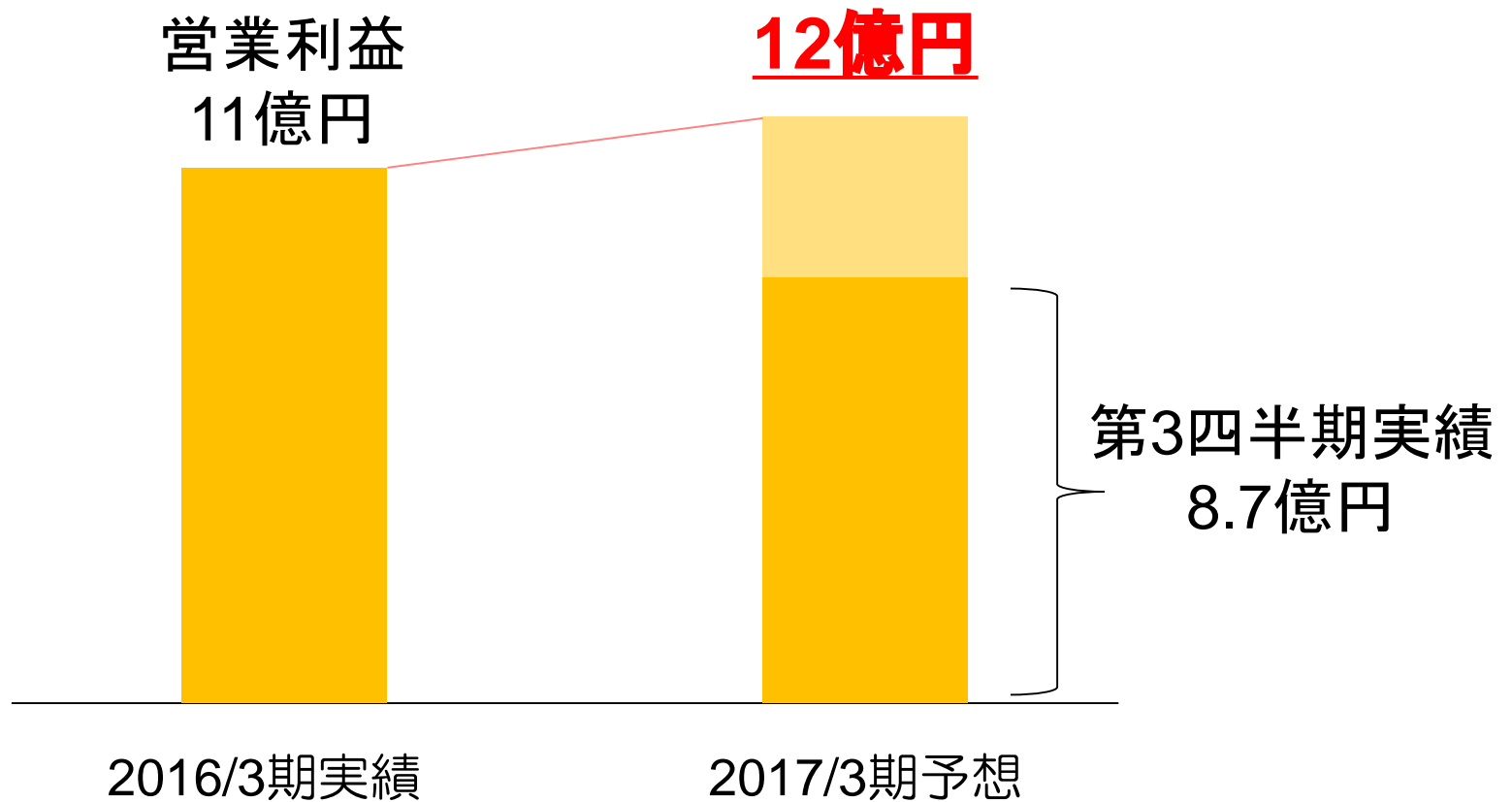
- M & A の効果により売上規模が約 2 倍となります。



3. 第3四半期実績と通期予測

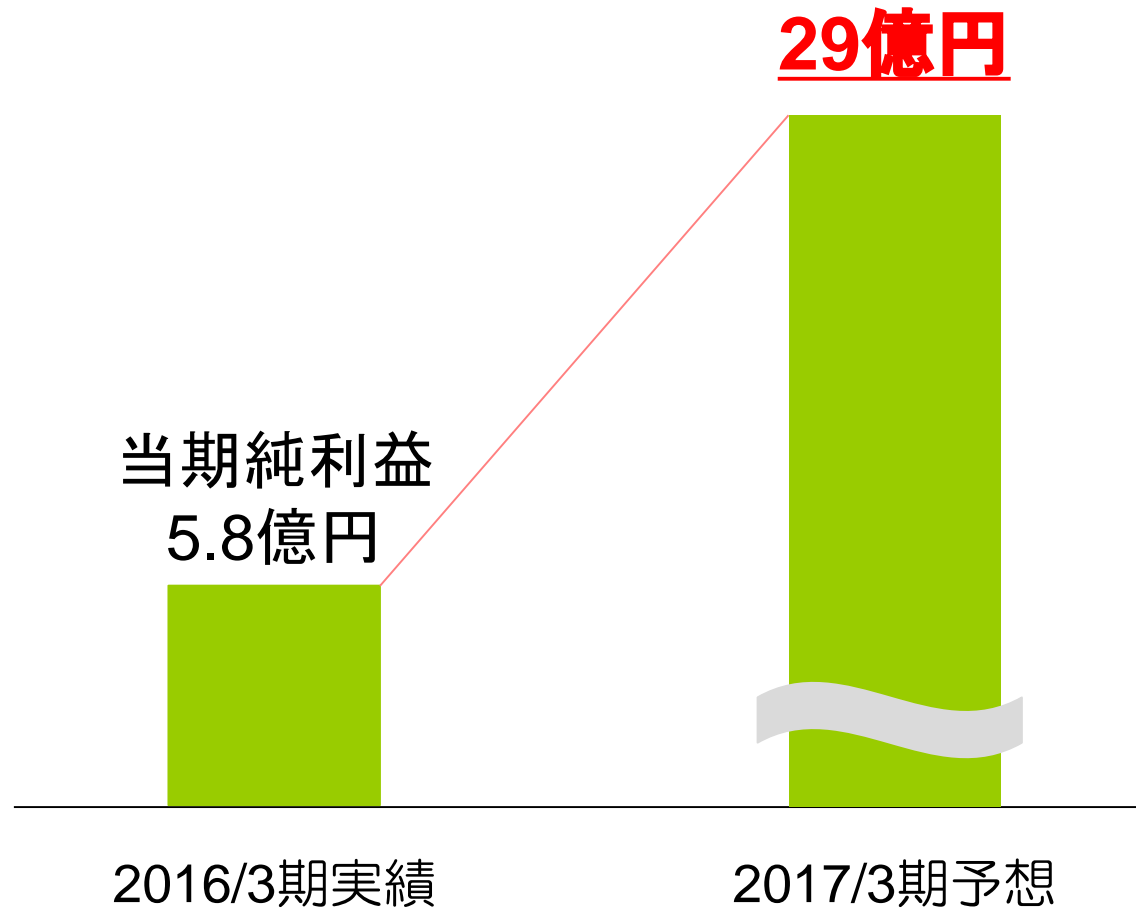
3-2. 営業利益

- 円高による利益率低下や子会社損益の低調により苦戦しておりましたが、下半期より緩やかに回復し営業利益は微増益となります。



3-3. 当期純利益

- 親会社株主に帰属する当期純利益はM & Aに伴う特別利益が大きく寄与します。



4. トレックスのこれから

1. 重点目標
2. 成長戦略
3. 差別化戦略
4. 開発力の強化
5. 成長地域の開拓・深耕
6. 3年後の業績

1 トレックスについて

2 新生トレックス・グループ

3 第3四半期実績と通期予測

4 **トレックスのこれから**

5 還元方針

4. トレックスのこれから

4-1. 重点目標

フェニテックのグループ化を機に、目指す姿に向けて重点目標を設定します。

▶ 高収益体質の回復・向上

営業利益率アップ、ROE10%超を早期に実現

▶ 高い信用力／信頼性の確立

BCP対応を含めた長期安定供給の体制を確立
最高水準の品質・信頼性を実現

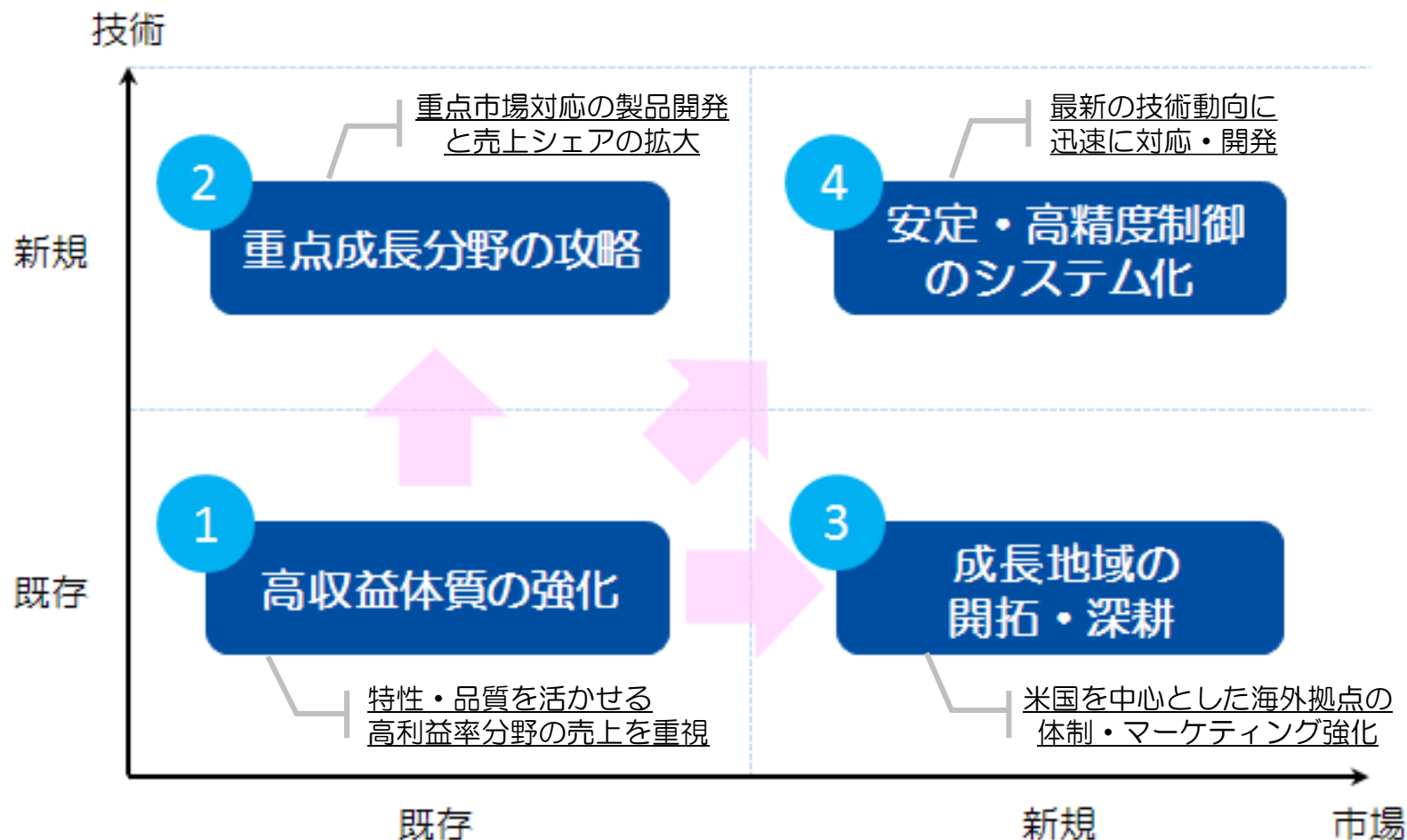
▶ 重点市場でのシェア向上

車載・産業・医療機器市場でのシェアアップ
新規市場での採用増（ウェアラブル、ドローン、ロボット、VR等）

4. トレックスのこれから

4-2. 成長戦略

高収益体質の確立を基盤として技術・市場の両面から面的な成長を期します。



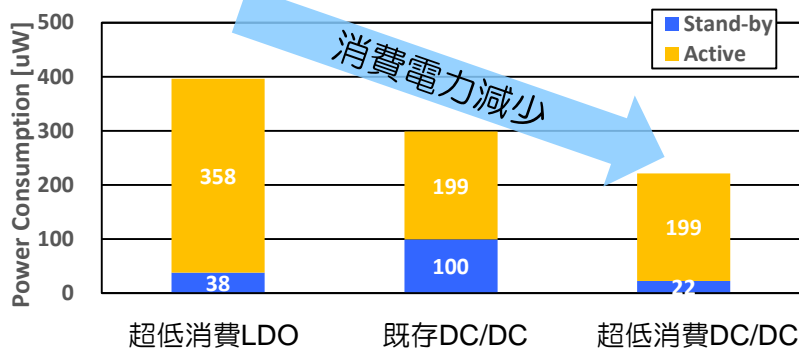
4. トレックスのこれから

4-3. 差別化戦略

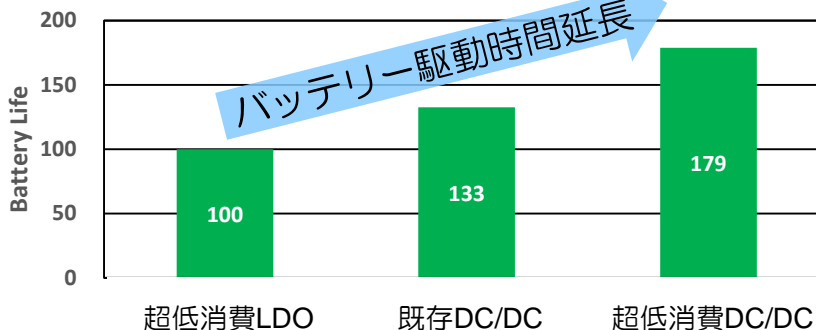
当社グループの技術力及びノウハウを結集し、差別化した特長のある製品を創造します。

省電力技術の研鑽

消費電力



バッテリーライフ時間



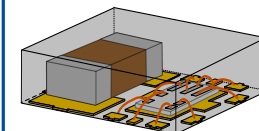
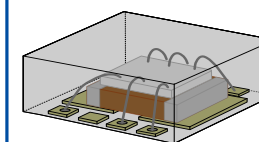
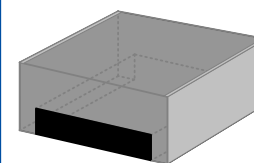
小型技術の追求

一体型DC/DC

ポケットタイプ

スタックタイプ

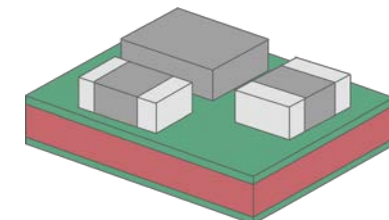
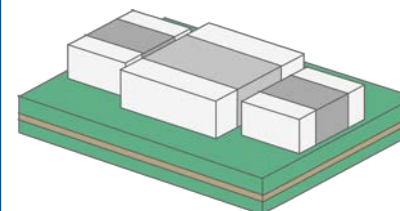
並列タイプ



競合他社のDC/DC

ベース基板にICチップを内蔵コイル、コンデンサを基板上に配置

積層コイル上にベース基板を作成。IC、コンデンサを基板上に配置



電子機器の長時間駆動、
バッテリーの小型化に貢献する製品の創造

他社より実装面積及び高さで有利な
製品の製造

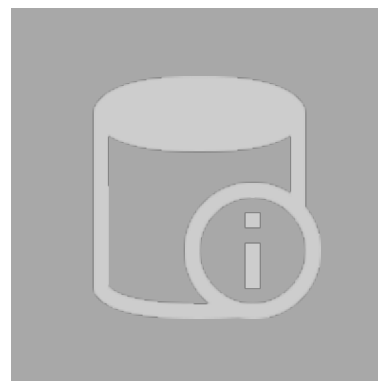
4. トレックスのこれから

4-4. 開発力の強化（1/3）

- 人材・設備へ先行投資を行い、開発力を更に強化していきます。

人材投資

優秀な電源設計の
エンジニアを積極的に
採用



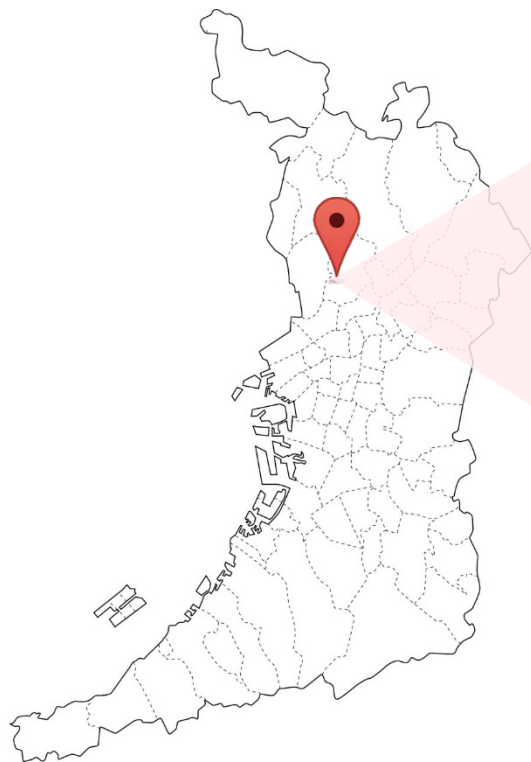
設備投資

新製品開発用の設計
ツール、幅広い分野
の顧客に対応可能な
各種装置の購入

4. トレックスのこれから

4-4. 開発力の強化 (2/3)

- 車載機器向けの製品開発から製品保証までを一貫する、関西技術センターを開設しました。



名称	関西技術センター
所在地	大阪府吹田市江坂町1丁目9番23号
開設年月	平成28年4月

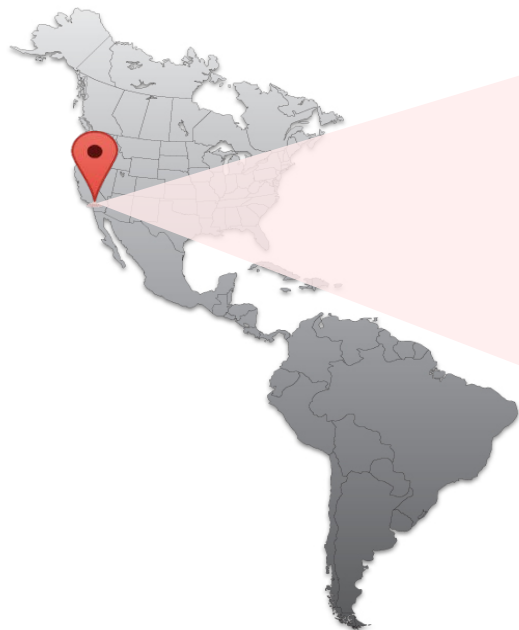
狙い

車載機器向けの製品開発に重点を置き、インフォテインメント、車載カメラ、ボディー系等の用途に適した高性能アナログ電源ICの製品開発に取り組めます。

4. トレックスのこれから

4-4. 開発力の強化 (3/3)

- 米国子会社 TOREX USA Corp. の研究開発拠点をシリコンバレーに開設しました。



名称	TOREX USA Corp. R&D Center
所在地	アメリカ合衆国カリフォルニア州
開設年月	平成28年4月
開設形態	TOREX USA Corp. の研究開発用 オフィスとして開設

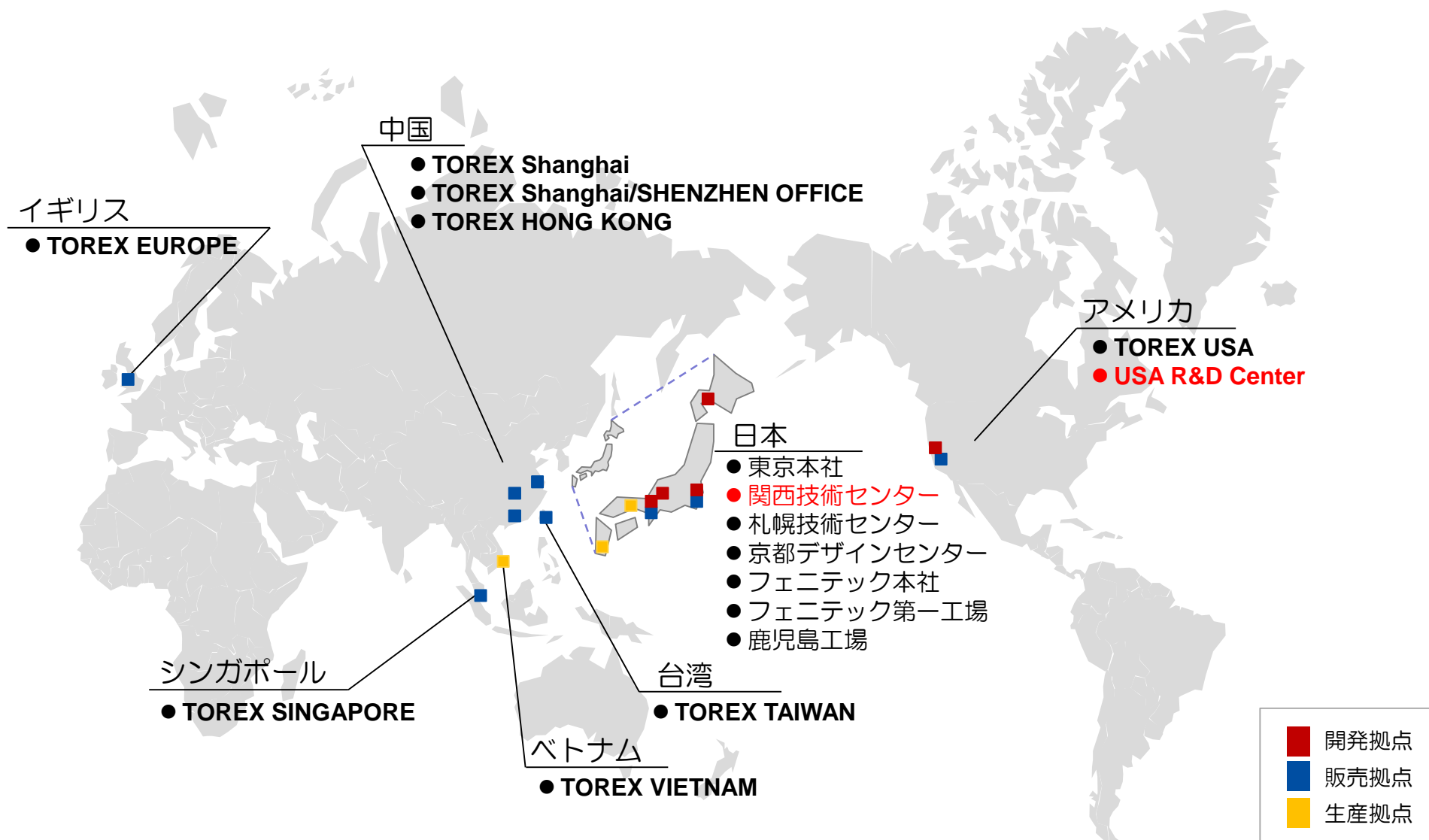
狙い

最新の技術と優れた人材を研究開発に活かすとともに、シリコンバレーに集結した最先端企業との協業を強化することによって、当社グループの次世代を担う高付加価値製品の開発を進めます。

4. トレックスのこれから

4-5. 成長地域の開拓・深耕

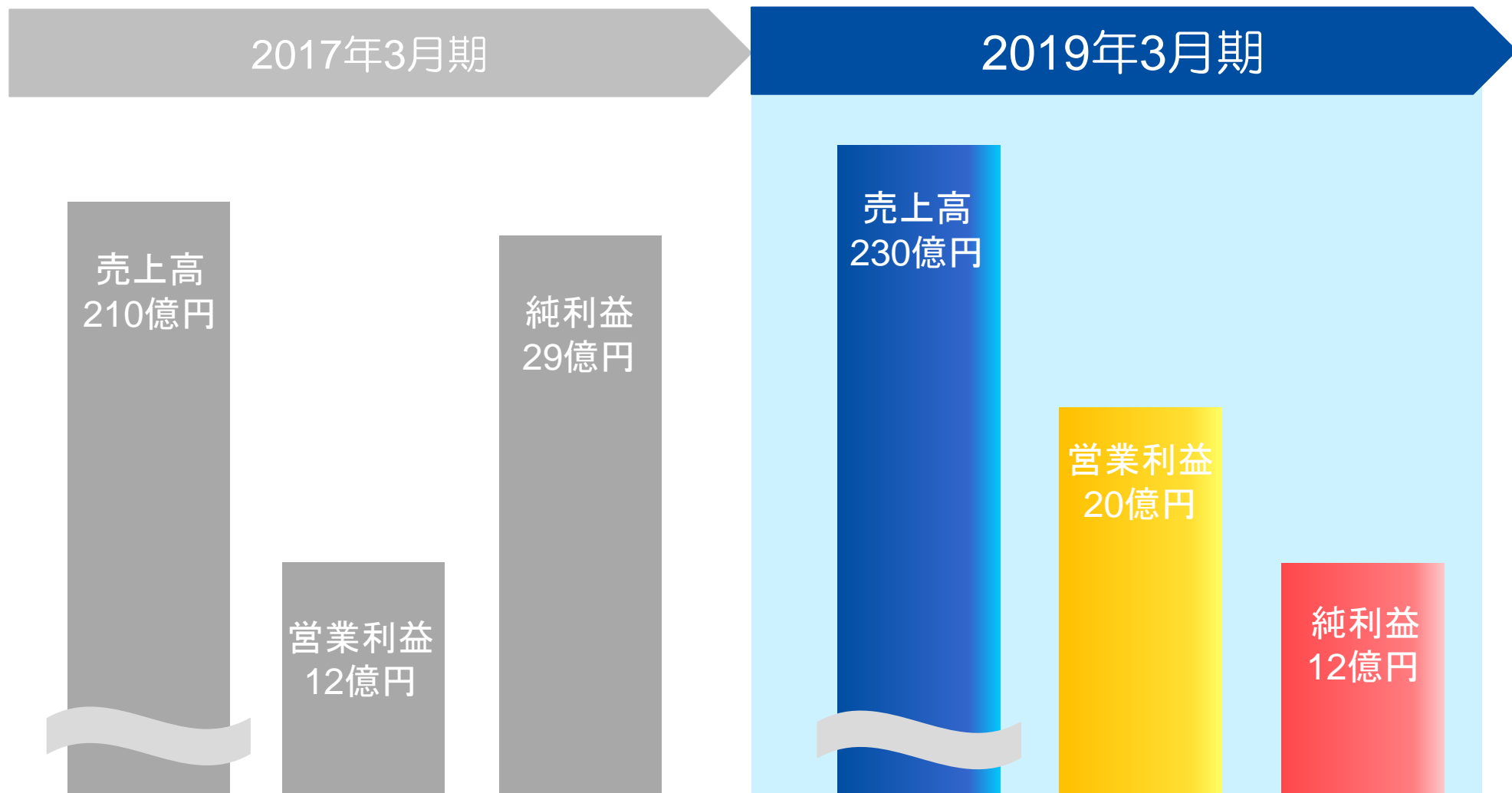
- 顧客基盤を拡大するため欧米、特に米国市場への浸透を進めます。



4. トレックスのこれから

4-6. 3年後の業績

- 成長戦略を推進し営業利益で20億円の水準を達成します。



5. 還元方針

1. 基本方針
2. 配当金
3. 自己株式の消却

1 トレックスについて

2 新生トレックス・グループ

3 第3四半期実績と通期予測

4 トレックスのこれから

5 還元方針

戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元の拡充として株主資本配当率（DOE）3%程度を当面の目標として実施してまいります。

5. 還元方針

5-2. 配当金

1株当たり配当金			
基準日	第2四半期末	期末	年間
前期実績	16円00銭	16円00銭	32円00銭
今期 配当予想	16円00銭	16円00銭	32円00銭

当社は、平成28年11月28日に子会社フェニテック
セミコンダクターが保有する当社株式の全て176万
株を取得いたしました。

上記の取得株式のうち116万株を平成28年11月30
日に消却いたしました。

平成28年12月末現在における当社の発行済株式総
数は9,539,200株であります。

本資料に記載された内容は、2017年3月11日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること

